いまかね教育かわら版

こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２０７
２０２４（令和６）年８月１９日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦



８月１３日（火）　【今金町２０歳を祝う会】
『来賓・主催者紹介』で司会の、「右を向いてください、左を向いてください」のアナウンスで座り直して上半身ごと相手に正対する子どもたち、失礼、成人参加者に感激。来賓席からは思わず「かわいいなあ」の声。小・中・高と続く今金の、檜山の財産ですね。礼儀正しい謙虚な姿は人生でも勝つよ。見ている人はきちんと見ているよ。



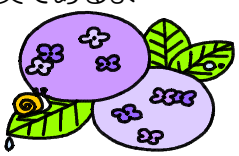
暑いけれど　気持ちよく生きよう、っと

パリオリンピックのテレビ視聴で心地よい寝不足。この後はパラリンピックも。
選手の活躍、礼儀正しさ、人間力に感動。

一方で改めて SNS をどう受け止めていくかのリテラシー教育の重要性を感じている日々。
事実なのかフェイクなのか。記事、文章を書いている人はどれくらいの知見や経験のある方なのか。

アンケートの無記名……かつて記名を求めたときの、「書きたいことも書けなくなる」という一見正当性を感じさせられる意見を思い出します。
無記名での意見の集計は、その母数の多さが必要で。「ゆらぎ」「偏り」が収まるだけの母数が必要で。
結果をよく受け止めないと、例えば９８％の人から賛同を得ているのに一つの強い意見に丁寧に対応しすぎて方向性を誤ってしまうこともないわけでなく。

だから、はっきりと言います。「良いものは良い、おかしいことはおかしい、と言える社会にしよう」と。
もしかしたら本来、あなたはそのようなことを言えますかという人、人格の人が無記名、匿名で、さも正しいことを言っているように評論家的な意見を表現する SNS の危うさに、子どものうちから気づかせないと。その重要さが高まっています。それが本当のネットリテラシー教育。
意見や感想を述べることは大事です。ただそれは、決して述べる人のストレス解消のためではありません。自由のはき違えは幸福、ウェルビーイングに繋がりません。
改めて、権利を主張するには義務を果たさねばならないという一面を認識しなければ。
よく分かっていないことをよく調べないで言ってはだめ。事実でないことをさも事実であるように書くのもだめ。フェイクです。



単純なことなんです。
人の悪口言ったってむなしくなるだけ。自分の人間としての価値が下がるだけです。
この文章、ぐちに聞こえたら嫌だなあ。炎上したり…。　まあ覚悟です。無記名の文章ではないので。文責は私。
ただただ、落ち込む人を出したくないのです。私はそのためにこの仕事をしている。気持ちよく生きよう、っと。